

下野市立石橋小学校

1 学校課題

自分の考えをもち意欲的に学習に取り組む児童の育成
 ～自己決定の場を設定し「学ぶ力」を育む授業をめざして～

2 研究計画

- (1) 授業の充実を図り、自ら学び解決に向かう態度と能力を育む。
 単元や授業展開を見直し、資料や自己決定の場の開発、その効果的な活用を図る。
- (2) 分かる授業、できる授業を展開する。
 スモールステップを意識した学習で基礎・基本の定着を図り、個の得意な学び方で学ぶ。
- (3) 言語活動の充実を図り、豊かに学び合う集団を育てる。
 自ら考え、振り返らせ、自分の考えを深められるよう話し合い、学び合う集団を育てる。
- (4) 外部講師の活用を図り（S&Uコラボ事業等）、研修会の充実を図る。

3 研究内容

(1) 研究の方法

- ① 個人研究を進める。年間を通じて個人テーマを決め実践する。
- ② 3つの部を設け授業形態や教材面からも「学ぶ力」を育む。
 ・授業研究部・教材部・学習形態部
- ③ 授業の質を高める。自主的公開も含め、研究授業を年間一人1回公開する。
 ア 単元や進度の面でも研究テーマにあった授業公開ができるよう、授業の一週間前に周知し実施する。
 イ 気軽に参観し合えるように、途中入退出する部分的な参観も認める。
 ウ アドバイスカードを活用し、互いに学び合う職員関係を育てる。
- ④ 授業検討会を充実させる。
 ア 外部講師を招く授業は、学年で事前授業を行い、授業検討会を開き、授業の質を高める。
 イ S&Uコラボ事業を活用し、外部指導者の指導を受ける。
 ウ 検討会では、KJ法を取り入れ振り返りを重視する。まとめたものをワールドカフェ方式で検討し、自由に話し合える雰囲気作りを心がける。KJ法でまとめたものに児童の様子や板書の写真などを加え掲示する。



(2) 研究の実際 実践内容

日時	形態	授業者	教科	授業内容
4 / 7	校内研修	学校課題研修	学校課題	について共通理解 組織作り 個人テーマ
6 / 1	校内研修	学校課題研修	部会について	S&Uコラボ授業事前検討会
6 / 24	自主公開	佐藤由佳	3年 図工	「こんにちは ふわふわさん」
7 / 6	S&U事業	田端省吾	6年 国語	「ようこそ私たちの町へ」 宇都宮大学 松本 敏 先生 下野市教委 岡本直美 先生
7 / 11	市英語研修	津川典子	5年 英語	市教委外国語活動授業参観
8 / 4	校内研修	学校課題研修	部会の打ち合わせ	活動
9 / 6	市道徳研修	柳田 梓	1年 道徳	「はしのうえのおおかみ」
9 / 16	自主公開	増渕敦子	6年 道徳	「誠実に」
9 / 24	校内研修	学校課題研修		S&Uコラボ授業事前検討会
9 / 26	自主公開	碓井 緑	1年 国語	「かたかなを みつけよう」
9 / 27	自主公開	阿部正明	特支 算数	「算数の問題を解こう」

10 / 4	新採研修	高久雄介	特支	生単	「時間」
10 / 4	新採研修	宮本真帆	2年	算数	「三角形」
10 / 13	校内研修	前期の振り返り			
11 / 7	S&U 事業	深谷亮太	5年	社会	「日本の工業の特色」 宇都宮大学 松本 敏 先生 下野市教委 星野友保 先生
12 / 6	3年目研修	角張今寿美	2年	算数	「かけ算九九づくり」
12 / 8	要請訪問	中尾 翠	4年	社会	「栃木県のじまん」 下野市教委 星野友保 先生
12 / 16	自主公開	竹内清恵	3年	理科	「じしゃくのふしぎ」
1 / 11	自主公開	安野和美	特支	国語	「発表しよう」
1 / 16	自主公開	斎藤 歩	3年	算数	「小数」
1 / 20	自主公開	倉井正子	特支	生単	「レストラン」
1 / 25	校内研修	今年度の学校課題の振り返り 研究の反省 成果と課題			
1 / 27	自主公開	椿 恵実	5年	音楽	「音楽のききどころ」
1 / 31	自主公開	飯野泰貴	5年	算数	「四角形や三角形の面積」
2 / 7	自主公開	櫻井 光	4年	算数	「立体」
2 / 9	自主公開	室井将男	4年	国語	「大事なことを落とさずに聞こう」
2 / 9	自主公開	本澤雅恵	特支	国語	「ことわざについて調べよう」
2 / 10	自主公開	相原浩幸	2年	算数	「はこの形」
2 / 10	自主公開	猿山孝英	5年	体育	「器械運動」
2 / 22	校内研修	学校課題研修	研究のまとめ 推進委員会		

4 本年度の成果と課題

(1) 研究の成果

- ① 意欲的に学習に取り組む児童の育成をめざし、単元計画の見直しを図ったり、IT教材を活用したりする授業が行われた。そのため児童の意欲が高まり、自ら学ぶ力を育むような授業の方向性が見えてきた。
- ② 研究初年度だったので、教員も児童と同じように個人テーマを選択し、自分なりに考えることができた。各自の得意な方法で研修を深めることができた。全員公開だったので、多くの授業を参観し研修できた。また経験年数の差や学級の差もなく、同じように参観し合うことで教師の協同性が高まり、互いに刺激し合うことができた。



- ③ ワークシートや視聴覚の活用法など部会で系統的に確認することができた。

(2) 研究の課題

- ① 意欲がとても大切なことは研修でわかったが、意欲・関心・態度が高まったことを具体的な基準を設定して評価することが難しい。
- ② 授業の中で「自己決定の場」を、どんな場面で、どんなねらいで設定されているか検証し、積み重ねていきたい。
- ③ 自由な授業参観体制をとったが、担任は児童を自習にではなくてはならなくなり、関心があっても授業参観できない時間もあった。自主公開授業が行事の合間に集中してしまい参観が難しかったので、来年度は一定期間に集中させず、○曜日の○校時と設定すると、参観しやすくなると思う。

